

## フォスタビバの歩みと未来への挑戦

皆さん、こんにちは。

私は、青森県の総合型地域スポーツクラブ「フォスタビバ」を運営しています。

今日は、私たちのクラブがどのようにスタートアップ助成金を活用し、成長してきたのかをお話しします。

設立当初、フォスタビバはまだ 10 名にも満たない任意団体でした。

会費制ではなく、実費で活動していたため、新規会員を集めするのがとても難しい状況でした。

「どうしたらもっと多くの人にフォスタビバを知ってもらえるのか？」

そんな悩みを抱えていたときに出会ったのが、県社協のスタートアップ助成金です。

助成金は講師の依頼などにも使えますが、年間 5 万円という限られた予算で何ができるかを考えました。

そこで思いついたのが、「ガチの親子で楽しめる水鉄砲合戦イベント」です！

このイベントの広告や会場設備に助成金を活用し、地域の方々にフォスタビバを知ってもらう機会を作りました。

結果、思惑は的中。

当初 30 人ほどだった参加者は、昨年は 70 人を超えるまでに成長し、フォスタビバの認知度も大きく向上しました。

しかし今年 1 月、不運なことに Instagram が乗っ取られ、700 人近いフォロワーや 700 件以上の投稿を失いました。

Instagram を通じた集客をしていたため、イベントの継続が危ぶまれました。

そんな時、県のスポーツ庁から総合型地域スポーツクラブの実績報告会への案内があり、一度行ってみることにしました。

当日、県職員の方から歓迎を受け、さらに来年度の県の事業への協力を依頼されました。

フォスタビバは「モデルクラブ」として認められたのです。

また、その報告会に参加していた方から「企業と官との連携も必要」というアドバイスをいただきました。

「官」は見えてきた。では「企業」だ！と考え、すぐ行動しました。

クラブ役員と共に、夏の 2 大イベント「水鉄砲合戦」と「最恐肝試し」のスポンサーを募ることを決意。

青森市内の小学校や中学校にポスターを配布し、まだ知名度の低いフォスタビ

バの存在を広めることを提案しました。

すぐにスポンサー資料を作成し、企業へ配布。

その結果、配布当日には予定金額の半分が集まりました。

さらに今年の桜祭りへのブース出展も企画書を作成し、事業者へアピールしたところ、見事成功！

今年は野木和公園での出展となります、盛り上がり次第では、来年は合浦公園での出展も視野に入っています。

そして、6月には廣田神社で「神社×バレー」の奉納イベントを開催予定！

フォスタビバは2022年に設立し、4年目を迎えました。

地域スポーツクラブとして、さらに必要とされる存在へと成長していきます。

ここまで来られたのは、助成金制度のおかげであり、そして何よりも人とのつながりのおかげです。

一歩踏み出せば、新しい出会いがあり、支えてくれる人がいる。

そのご縁が、フォスタビバの活動を前に進めてくれました。

これからも、地域に根ざした活動を続け、スポーツの楽しさを広げていきます。

心からの感謝を込めて、ありがとうございました！